



# 2017 年 ドリームごよみ 4月

## 高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム

2017 年 4 月 15 日発行

### 第 31 回ドリームサロン開催 3 月 11 日 (土)



( 트레이ニー 16 名、家族 4 名、ボランティア 2 名、職員 8 名、お客様 6 名、講師 1 名 )

#### ●第 1 部 講演 “すてっぷなな” での活動の紹介

##### ～他の事業所の活動を知ろう～

横浜市都筑区にあるクラブハウス「すてっぷなな」施設長 野々垣 睦美さんにお越しいただき、「“すてっぷなな” での活動紹介～他の事業所の活動を知ろう～」の演題でご講演いただきました。



「すてっぷなな」は、神奈川県唯一の高次脳機能障害専門の作業所で、若年の高次脳機能障害に特化した施設は全国でもここだけだそうです。



野々垣さんは作業療法士として神奈川県リハビリテーション病院で 8 年間勤務、平成 16 年 4 月に「すてっぷなな」を立ち上げました。次のステップに踏み出す場所としてこの名前が付けられました。よくある作業所のイメージを避け、「お洒落な感じ」、「皆が来やすい感じ」、にこだわったそうです。利用者が中途障害者であり、自分が作業所で働く障害者だとは認めたがらない場合があるからというお話でした。



この「すてっぷなな」の犬用クッキーを参考にして当施設の DD クッキーが出来上がりました。

#### ●第 2 部 当事者と主に語り合おう！

##### 調布ドリーム活動報告を担当して【ババちゃん / トレーニー】

調布ドリームの活動報告を担当しました。私はあがり症で、特に注目され人前でマイクを持ち、スピーカーで自分の声が出ると舞い上がってしまいます。また早口になってしまい伝わらないで、ゆっくり話すことだけに集中しました。「それでも飛ばし過ぎた」と反省していますが、伝えられたかなあと思っています。トレーニーの人達は、毎日マイペースで生き生き活動しています。



## アンケートより

### 第1部 講演会の感想

- ・自立するためにやってみる。やらせてみる事に考え方を切り替える（家族）
- ・失敗させることも良いことだという話。過保護になりがちな私ですが心掛けなくてはと思います。（家族）
- ・今後の道しるべとしたいと思います。（トレイニー）判断能力（思考）は人それぞれで常識で判断しては高次脳機能障害当事者を理解することは理解できない（家族）

### 第2部 自己紹介の感想

- ・皆さんすごく頑張っているなあ（家族）
- ・これからの作業療法士を目指す娘にとっても、とても役立つお話だったと思います。私と同じ立場の保護者の方達とお会いできて良かったです（外部家族）
- ・他のトレイニーさんが自分自身の障害をきちんと説明できていることにビックリしています。やはりリハビリと経過年数が必要なのかと思いました。自分で対応することが大事だと思いました（家族）
- ・自分は上手くしゃべれなかった（トレイニー）
- ・みんなを知れた。

### ご意見

- ・とても参考になるお話でした。勉強になりました。ありがとうございました。また参加させてください。お手伝いできることがありましたらお声かけ下さい（外部家族）
- ・とても勉強になる話を聞け、ありがとうございました。また参加させてください（外部当事者）
- ・今回近々こうなるだろうと予測できたのでお話が聞けて助かりました。（家族）
- ・フリートークはもっと話をしたいと思いました（トレイニー）

## お花見に神代植物公園に行く 3月30日（木）

（トレイニー 18名、ボランティア・家族7名、職員6名）

### 【ふじさん/ボランティア】

暖かな日差しが心地よい良い天気の日、3月30日、神代植物公園に花見に行ってきました。

あいにくと桜はまだ1分咲きくらい…でも、神代曙原木と書かれた桜はきれいなピンクの花を咲かせてくれていました。その横では白い花が咲き誇っていて、何の花？に答えをくれたのはRママさん。さすがです。答えはコブシでした！

シートでまったり組、公園の奥へと花を求めて探索に行く組とに分かれて楽しい時間を。

私は、ついでの花見もしっちゃおうとKさんとな～んにも無いバラ苑を歩いて温室まで足を延ばしました。「きれいなみどり！あ～ヒスイ色なのか」、「パパイヤ！熟してるよ」

「さぼてんって食べられるんだよね」と講釈垂ながら散策。

締めはやっぱり桜でしょと、さくらソフトクリームを。桜餅の味でうまい。しっかりとお腹に収めて満足（^◇^）



## 神代植物公園での俳句

平成二九年三月三〇日  
 神代植物公園にて一句



昼食後、各グループでの自由行動のあとに俳句を詠みました。



## 2017年2月25日より1か月間の動き

◆ご見学・ご来所など◆ 3月21日（火）当事者ご夫妻とケアマネさんパソコン見学、23日（木）21日来所された当事者の方が、スポーツ吹矢に参加される。29日（水）当事者ご夫妻、ケアマネさん、ドルチェ職員と共に見学。4月4日（火）トレイニーの息子さんが見学。

◆ご寄付よろしく申し上げます◆ ご寄付の振込先 郵便局 00180-9-651828 「調布ドリーム」

※通信欄に「寄付」と明記の上、ご氏名、ご住所、お電話番号をご記入ください。追って領収書を送らせていただきます。またドリームごよみにお名前を掲載させていただきますので、匿名ご希望の方は、その旨も通信欄にご記入をお願い申し上げます。

◆東京都の高次脳機能障害専用電話のご紹介◆

・東京都心身障害者福祉センター

電話 03-3235-2955 FAX 03-3235-2957

月～金曜日 9時～12時、13時～16時（祝日・年末年始を除く）

・とうきょう高次脳機能障害インフォメーション

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shinsho/kojino/index.html>

# 4月の予定 (都合により変更もあります) ボランティア募集中

<生活訓練>

※調布ドリームは日曜・月曜はお休みです。

| 日                            | 月  | 火                           | 水                      | 木                 | 金                  | 土                          |
|------------------------------|----|-----------------------------|------------------------|-------------------|--------------------|----------------------------|
| 火曜日～土曜日：10時～15時<br>10時：ラジオ体操 |    | MT：ミーティングの略<br>SST：社会生活技能訓練 |                        |                   |                    | 1 料理教室                     |
| 2                            | 3  | 4 認知リハ<br>イトコサガシ            | 5 グッズメイク<br>体操 / 音楽    | 6 パソコン<br>午後休み    | 7 当事者会準備<br>卓球     | 8 絵手紙<br>料理MT              |
| 9                            | 10 | 11 染地まつりMT<br>運営委員会         | 12 グッズメイク<br>体操 / 音楽   | 13 パソコン<br>スポーツ吹矢 | 14 脳トレ<br>卓球       | 15 料理 MT<br>映画鑑賞「ハドソン川の奇跡」 |
| 16                           | 17 | 18 認知リハ<br>書道教室             | 19 編物教室<br>体操 / 音楽     | 20 パソコン<br>ゲーム    | 21 SST<br>卓球       | 22 当事者会<br>絵を描こう           |
| 23/<br>30                    | 24 | 25 ジャズピアノ<br>カラオケ           | 26 新聞アート<br>AMの感想 / 体操 | 27 パソコン<br>料理 MT  | 28 4月プログラムMT<br>卓球 | 29 祝日                      |

<就労継続支援 B 型>

| 日                                                          | 月  | 火★                | 水★                 | 木★                       | 金★             | 土★                         |
|------------------------------------------------------------|----|-------------------|--------------------|--------------------------|----------------|----------------------------|
| ★「夢市」は火曜日から土曜日まで 10時～15時開店。<br>ただしプログラムの都合上、午後は閉店となる日があります |    |                   |                    |                          |                | 1 料理教室                     |
| 2                                                          | 3  | 4 販売&整備<br>販売&整備  | 5 DDクッキー製造<br>SST  | 6 DDクッキー製造<br>午後休み       | 7 販売&整備<br>卓球  | 8 絵手紙 / 販売品制作<br>販売&整備     |
| 9                                                          | 10 | 11 販売&整備<br>運営委員会 | 12 DDクッキー製造<br>SST | 13 DDクッキー製造<br>受注作業 / MT | 14 販売&整備<br>卓球 | 15 販売&整備<br>映画鑑賞「ハドソン川の奇跡」 |
| 16                                                         | 17 | 18 販売&整備<br>販売&整備 | 19 DDクッキー製造<br>SST | 20 DDクッキー製造<br>受注作業 / MT | 21 販売&整備<br>卓球 | 22 当事者会<br>絵 / 販売品制作       |
| 23/<br>30                                                  | 24 | 25 販売&整備<br>カラオケ  | 26 DDクッキー製造<br>SST | 27 DDクッキー製造<br>受注作業 / MT | 28 販売&整備<br>卓球 | 29 祝日                      |

## 調布ドリームご利用ガイド

- \*活動日：週5日(火～土)10時～15時。送迎なし。昼食は各自持参。
- \*生活訓練プログラム(定員10名)：卓球、音楽、認知リハ、パソコン、グッズメイク、ゲーム、絵手紙、編物、SST、絵画、新聞アート、書道、イトコサガシ、料理、スポーツ吹矢、カラオケ、ジャズピアノ&映画鑑賞 etc.
- \*就労継続支援 B 型プログラム(定員10名)：『夢市』(犬用クッキーや自主作品の製造販売とリサイクル品等の販売)、パソコン・絵手紙・絵画などにおいて商品の開発、映画上映、レクリエーション(卓球、カラオケ、ゲーム) etc.
- \*共同プログラム：地域イベント参加、ドリームサロン開催、旅行
- \*職員：<兼務>施設長1名、サービス管理責任者1名、事務員1名(非常勤)<生活訓練>支援員3名(常勤1名・非常勤2名)<就労継続支援 B 型>支援員3名(常勤2名・非常勤1名)、職業指導員1名(非常勤)
- \*専門資格：作業療法士1名、社会福祉士1名
- \*リハビリ講師：(卓球、編物、認知リハ、絵手紙、ゲーム、パソコン、絵を描こう、ジャズピアノ、新聞アート、体操、書道)
- \*ボランティア：家族ボランティア・一般ボランティアが、夢市・編物・卓球・料理などで活躍中。(ボランティア募集中)
- \*ご利用には障害福祉サービス受給者証が必要です。(お住まいの各区市の障害福祉課に申請)
- \*障害者手帳がなくても高次脳機能障害の医師の診断書がとれる方、また介護保険の第2号被保険者(40～65才未満)の方でもご利用いただけます。
- \*利用料は障害者総合支援法の規定に基づきます。所得により月額負担上限額があります。
- \*随時ご相談を受け付けます。まずは見学にお出でください。不明な点は、その際にご相談ください。

編集後記 春になるとタケノコを食べるのが楽しみです。ところが、今年はタケノコ不作だとか。実際、八百屋さんのタケノコはとても小ぶり。残念ですが、来年の豊作を期待しながら、ありがたくタケノコごはんをいただきます。(まさみ)

NPO法人高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム <http://www.chofudream.com>

(〒182-0036 調布市飛田給2-22-7 TBKビル1階、京王線「飛田給」駅南口徒歩1分)

TEL/FAX: 042-444-3068

E-mail: [info@chofudream.com](mailto:info@chofudream.com)

代表 吉岡千鶴子



調布ドリームでは、みんなが呼称を申告し、対等で打ち解けやすい呼び方を取り入れています